

平成 27 年度事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人 出光美術館

I. 事業活動

1. 概要

平成27年度は、本館において「東洋の美」、「田能村竹田」、「躍動と回帰」、「ジョルジュ・ルオー展」、「書の流儀」、「勝川春章と肉筆美人画」の企画展6展を開催した。また、出光美術館(門司)では(公財)出光佐三記念美術館との共催で企画展5展と通年常設展を開催した。出版事業としてカタログ6点、研究紀要第21号、館報171号～174号を発行した。企画展に関連した講演会は、東京で6回、門司で5回実施を発行した。

5月21日より6月9日の間、6大学より12名の実習生を受け入れ、博物館学の実習指導を行った。館外展としては、10月31日から12月13日まで愛知県の知多市歴史民俗博物館で「人間国宝・三代山田常山 故郷に帰る」展に作品の貸出を行った。

2. 展覧会

本館

展覧会名	期間	開館日数	入館者数	人/日
東洋の美 ー中国・朝鮮・東南アジアの名品 ・没後180年	27. 4. 11～6. 14	57	23, 200	407
田能村竹田 ・日本の美発見X	27. 6. 20～8. 2	39	20, 041	514
躍動と回帰 ー桃山の美術	27. 8. 8～10. 12	58	26, 376	455
ジョルジュ・ルオー展 ー内なる光を求めて ・文字の力・書の力Ⅲ	27. 10. 24～12. 20	51	25, 862	507
書の流儀 ・没後180年	28. 1. 9～2. 14	33	16, 349	495
勝川春章と肉筆美人画 ー<みやび>の女性像	28. 2. 20～3. 27	33	27, 738	841
計：		271	139, 566	515

出光美術館(門司) ※(財)出光佐三記念美術館との共催

展覧会名	期間	開館日数	入館者数	人/日
企画展				
仙厓と九州の茶陶	27. 4. 24～6. 21	52	4, 360	84
柿右衛門と鍋島	27. 6. 26～9. 13	70	5, 567	80
やまと絵と水墨画	27. 9. 18～11. 8	47	3, 861	82
東洋工芸の美	27. 11. 13～12. 20	34	2, 590	76
桃山の茶陶	28. 1. 8～3. 27	71	5, 121	72
計：		295	21, 499	78

中近東文化センター附属博物館

展 覧 会 名	期 間	開館日数	入館者数	人／日
出光美術館名品展	27. 4. 1～28. 3. 31	166	1, 504	9

出品協力

展 覧 会 名	期 間	開館日数	入館者数	人／日
「人間国宝・三代山田常山 故郷に帰る」 愛知県知多市 知多市歴史民俗博物館	27. 10. 31～12. 13	38	2, 727	72
宗像大社献茶祭	27. 10. 17	1		

3. 出版物の発行

(1) カタログ

「東洋の美 ー中国・朝鮮・東南アジアの名品」	平成27年4月11日
「田能村竹田」	平成27年6月20日
「躍動と回帰 ー桃山の美術」	平成25年8月8日
「ジョルジュ・ルオー展」	平成25年10月24日
「書の流儀」	平成28年1月9日
「勝川春章と肉筆美人画 ーくみやび>の女性像」	平成28年2月20日

(2) 研究紀要 第21号 平成28年1月31日

◎ 出光美術館所蔵「酒吞童子絵巻」略解題・詞書翻刻	廣海 伸彦
◎ 池大雅における室町文化憧憬の一様相	出光 佐千子
◎ 仙厓の風俗画を巡って	八波 浩一
◎ 田能村竹田筆「茶仙誦詩図」の成立背景	田中 伝
◎ 出光美術館蔵「古筆手鑑『墨寶』」について	別府 節子
◎ 文人の学書と書作をめぐる試論ー頼山陽の周辺	笠嶋 忠幸
◎ 乾山焼の中に見る中国陶磁 ー 十七世紀後半～十八世紀における中国陶磁器の流通・使用とその影響から	徳留 大輔

(3) 館報

ア. 第171号 平成27年5月31日

◎ 箱書きが語る作品の歴史 ー「東洋の美」展出品作品、青花秋草文壺及び褐彩草花文瓢型瓶をめぐってー	八波 浩一
◎ 「没後180年 田能村竹田」展によせて	田中 伝
◎ 館蔵中国青銅器実測図 ・ 拓本選(40)	
◎ 2014年度事業報告	

イ. 第172号 平成27年8月31日

第296回 水曜講演会

- ◎ 「小杉放菴と西洋体験」 三浦 篤
館蔵品資料紹介
- ◎ 館蔵書跡作品の付属品紹介(1) 別府 節子
館史資料備忘録1
- ◎ 「出光松園蔵帳」罫紙 金沢 陽
- ◎ 館蔵中国青銅器実測図 ・ 拓本選(41)

ウ. 第173号 平成27年11月30日

第297回 水曜講演会

- ◎ 近代韓国陶磁研究の歩みと高麗青磁の再現 鄭 銀珍
館蔵品資料紹介
- ◎ 伝 岩佐又兵衛筆「靈昭女図」の再発見 廣海 伸彦
館史資料備忘録2
- ◎ 茶室「朝夕菴」と雅号「出光朝夕庵」由来記 金沢 陽
- ◎ 館蔵中国青銅器実測図 ・ 拓本選(42)

エ. 第174号 平成28年3月31日

第298回 水曜講演会

- ◎ 田能村竹田と「自娛」 黒田 泰三
新収蔵品紹介
- ◎ 小杉放菴筆「湿婆神舞踏」と福原信三 出光 佐千子
館史資料備忘録3
- ◎ ヨーロッパ巡回仙厓展経緯 金沢 陽
- ◎ 館蔵中国青銅器実測図 ・ 拓本選(43)

4. 講演会

(1)本館

回	演題	講師	開催日	聴講者数
297	「近代韓国陶磁研究の歩みと高麗青磁の再現」	鄭 銀珍	25. 5. 13	132
298	「田能村竹田と「自娛」」	黒田 泰三	25. 6. 5	118
299	「桃山美術の特徴を探ってみよう」	河合 正朝	27. 8. 19	136
300	「Divertissement(気晴らし)或いは占領期のルオー」	後藤 新治	27. 11. 11	89
301	「美しく書くということ」	青山 浩之	28. 1. 20	99
302	「18世紀の浮世絵画壇」	田辺 昌子	28. 3. 16	121

(2)出光美術館(門司)

演題	講師	開催日	聴講者数
「仙厓の禅画を楽しむ」	笠嶋 忠幸	27. 5. 18	56
「柿右衛門と鍋島 —九州陶磁の精華、その魅力のすべて」	柏木 麻里	27. 8. 24	75
「色彩の美・墨の美—日本絵画のふたつの流れ」	田中 伝	27. 10. 19	70
「東洋工芸の魅力—陶磁器を中心に」	八波 浩一	27. 11. 30	55
「桃山の茶陶—新たなる伝統の創造」	徳留 大輔	28. 3. 7	97

5. 博物館学の実習指導(本館)

(1)実習期間 平成27年5月18日～5月23日

平成27年6月25日～5月30日

(2)実習人員

青山学院大学 3名

学習院大学 3名

共立女子大学 2名

昭和女子大学 1名

実践女子大学 1名

明治大学 2名

武蔵野美術大学 1名

合計: 13名

6. 美術品の修復

(1) 国庫および東京都の助成金による修復

小川破笠「柏木菟料紙箱・春日野蒔絵硯箱」(重要文化財)

修復期間:平成26年11月～平成28年3月

平成27年度修復費用 2,794,518円,うち国庫補助金1,536,000円、

東京都補助金691,000円

(2) 当館費用による修復

牧溪「叭々鳥」

修復期間:平成26年6月～平成27年9月 平成27年度修復費用 2,165,400円

(3) 出光文化福祉財団の助成による修復

① 岩佐又兵衛「野々宮図」(重要美術品)

修復期間:平成27年4月～平成28年3月

平成27年度修復費用 4,067,941円 うち4,060,000円は出光文化福祉財団の助成

② 浮世絵コレクションの修復 10年計画の2年目として作品7件の修復

修復期間:平成27年4月～平成28年3月

平成27年度修復費用 15,298,310円 うち15,000,000円は出光文化福祉財団の助成

7. 5館連携

平成22年に開始したブリヂストン美術館、三井記念美術館、三菱一号館美術館、東京ステーションギャラリーの五館の連携活動として、「5館共通券」の販売、「東京駅周辺美術館MAP」の作成、「学生無料ウィーク」の実施を行ってきた。五館共通券は当館では4月以降2,497名(合計3,524名)の入館実績となった。

東京駅周辺美術館MAPでは、当館に1,058名の入館実績となった。学生無料ウィークは3月15日から3月27日まで実施し、期間中の学生入場者は643名で、通常の5倍以上の入館となっている。

また、7月には5館の共通の企画として「七夕フェア」を実施した。今後も連携活動を続けて行く。

8. 施設の無償貸与

(財)中近東文化センターと締結した建物使用貸借契約(平成4年4月1日締結)にもとづき基本財産である東京都三鷹市大沢3丁目10番31号の土地・建物を引き続き無償で貸与した。

(財)中近東文化センターは、特定公益増進法人であり、当該建物をトルコを中心とした中近東文化の研究施設として活用し、その成果を展覧会や講演会の形で一般に公開している。

II 総務事項

1. 役員会

(1) 下記の理事会に各議案を付議し、原案通り可決された。

開催月日	議案
臨時理事会(書面による決議) 平成27年5月27日	1. 平成26年度事業報告および平成26年度決算について 2. 評議員候補の推薦について 3. 第6回評議員会の招集について
第10回理事会 平成28年3月10日	1. 平成28年度事業計画および平成28年度収支予算について 2. 評議員会の開催について その他として、(1)常勤理事の活動報告 (2)28年度開催する展覧会の概要について (3)出光美術館(門司)建替え工事の進捗状況について の報告を行った

(2) 下記の評議員会に各議案を付議し、原案通り可決された。

開催月日	議案
第6回評議員会 平成27年6月11日	1. 平成26年度収支決算の承認について 2. 小澤尚二評議員の追加選任について その他として、(1)27年度の事業計画、 (2)26年度の事業報告 (3)常勤理事の活動報告 の報告を行った

2. 登記

評議員 小澤尚二氏を登記した

3. 官公署・届出その他

(1)平成27年6月26日に平成26年度事業報告および収支決算報告を内閣府に提出した。

(2)平成27年7月30日に決算公告を官報に掲載した。

(3)平成26年3月25日に平成28年度事業計画および収支予算を内閣府に提出した。

4. 役員

役名	氏名	就任年月日	現職務
理事	出光 昭介	昭56. 7. 17	出光興産(株)名誉会長
"	長谷部 楽爾	昭63. 6. 16	東京国立博物館名誉館員
"	福岡 正夫	平 1. 6. 22	慶應義塾大学名誉教授
"	河合 正朝	平19. 3. 15	千葉市立美術館館長
"	河野 元昭	平24. 4. 1	京都)美術工芸大学学長
"	大和 宏康	平22. 7. 15	(公財)出光美術館 館長代理
"	黒田 泰三	平26. 6. 12	明治神宮企画部 宝物展示新施設開設準備室室長
"	出光 佐千子	平26. 6. 12	青山学院大学 准教授
	理事 計8名		
監事	長岡 實	平10. 4. 28	(公財)資本市場研究会 顧問
"	保田 博	平16. 10. 25	(公財)資本市場振興財団 顧問
	監事 計2名		
評議員	洪沢 雅英	昭55. 9. 25	(公財)洪沢栄一記念財団理事長
"	鈴木 勲	平 4. 1. 23	(公社)日本弘道会会長
"	古河 潤之助	平 9. 3. 6	古河電気工業(株)相談役
"	出光 正和	平19. 3. 15	日章興産(株) 代表取締役
	大倉 健資	平26. 6. 12	ヘンミ計算尺(株)代表取締役
	原田 征夫	平26. 6. 12	元出光興産(株) 副社長
	出光 正道	平26. 6. 12	出光興産(株) 国際需給部
	小澤 尚二	平27. 6. 11	(株)ビッグKテニス ゼネラルマネジャー
	評議員 計8名		

5. 職員

館長代理	大和 宏康
総務課長	風早 邦夫
ほか職員	22名
職員合計	24名(うち男13名、女11名)